

2019年度

香川大学大学院農学研究科（修士課程）

日本の食の安全特別コース

外国人留学生募集要項

香川大学大学院農学研究科は、日本の食の安全特別コースを開設し、外国人留学生を募集する。

1. 設置目的

食品関連企業や海外展開する日系食品企業とコンソーシアムを形成し、「日本の食の安全」の観点から、農産物の育成・飼育・収穫・加工・流通・販売に至るまで総合的に食の安全に必要な能力を体系的に身につけ、日本語や日本文化を正しく理解した優秀な国際人、且つ経営感覚を身につけ企業幹部となりうる人材を育成する。

2. 求める学生像

設置目的をよく理解して、「食の安全」の観点から、積極的に日本語及び日本企業におけるビジネス文化を学習・研究する意欲を持ち、日本での学生生活に適応する能力を有する留学生で、本コースを修了後、日本企業又は日系関連現地法人への就職を希望する者。

3. 専攻分野

入学志願者は、7 ページの表の「本コースの指導教員と専門分野」を確認し、希望専攻分野及び希望指導教員を第1希望から第3希望まで選択すること。

4. 渡日前入学許可制度

「渡日前入学許可制度」とは、提出された書類及びインターネットインタビュー等により審査を行い、合格者の入学を許可する制度である。この制度を利用すれば、受験者は日本で試験を受けることなく入学許可を得ることが可能である。本募集については、「渡日前入学許可制度」を適用する。

5. 募集人員

外国人留学生 6名（ただし、1大学あたり推薦志願者は3名までを目安とする。）

6. 出願資格及び条件

(1) 資格：指定校（以下指定校一覧参照）に在籍している者、又は指定校を卒業した者。

指定校一覧

バングラディシュ	ダッカ大学、シエレバングラ農業大学
ブラジル	ロンドリーナ州立大学
ブルネイ	ブルネイダルサラーム大学
中国	浙江工商大学、南京農業大学、天津農学院、浙江大學、中国農業大学、江南大学、香港大学
英国	ノッティンガム大学
インドネシア	ボゴール農業大学、ガジャマダ大学、ハサヌディン大学、ディボネゴロ大学、スマラン国立大学
インド	デリー大学

マレーシア	プトラマレーシア大学
台湾	嘉義大学
トルコ	中東工科大学
タイ王国	アサンプション大学、カセサート大学、チェンマイ大学、メチヨー大学、チュラロンコン大学、シラパコーン大学
米 国	カリフォルニア大学デービス校、オレゴン州立大学、ミシガン州立大学、テキサス A&M 大学
ベトナム	カントー大学、ハノイ工科大学、ホーチミン市工科大学
フィリピン	フィリピン大学 ロスバニョス校

上記以外で、香川大学と学術交流協定を結んでいる大学及び香川大学大学院農学研究科長が認めた大学

- (2) 対 象：外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、又は 2019 年 9 月 30 日までに修了見込みの者であって、修了校又は在学校の部局長（学部長等）以上の推薦を受けられる者。
- (3) 国 籍：外国の国籍を有する者
- (4) 年 齢：1984 年 4 月 2 日以降に出生した者（2019 年 4 月 1 日現在で満 35 歳未満の者）
- (5) 学業成績：学業成績係数を次に定める方法で求め、直近 2 年間の学業成績が 3 点満点中 2.30 以上である者

[学業成績係数の算出方法]

下記の表により「評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて計算すること。

区分	成績評価				
		優	良	可	不可
4 段階評価		A	B	C	F
		100～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点～
5 段階評価	S	A	B	C	F
	A	B	C	D	F
	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点～
評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\{ (「評価ポイント 3 の単位数」 \times 3) + (「評価ポイント 2 の単位数」 \times 2) + (「評価ポイント 1 の単位数」 \times 1) + (「評価ポイント 0 の単位数」 \times 0) \} \div (総登録単位数)$$

【注 1】 総登録単位数には、評価ポイントゼロの単位数を含むこと。

【注 2】 学業成績係数は、小数点第 3 位以下を切り捨てること。

【注 3】 学業成績評価基準が上記と異なる場合は、各大学の評価基準を参考に評価する。

【注 4】 履修した授業について単位制をとらない場合は、単位数を科目数に置き換えて算出すること。

(6) 健 康：心身ともに健康で、大学院における学業に支障がない者。

(7) 語学能力：

1) 英語または日本語で十分な意思疎通を図ることが可能な者。

2) 渡日時に、日本語能力試験 N4 (\*) 程度以上の語学力のある者。あるいは日本語能力について、語学センターなどで所定の単位を取得している者、又は修了認定を受けている者。

(\*) 日本語能力試験 N4・・・基本的な日本語を理解することができる。

・読む・・・基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。

・聞く・・・日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。

参考 URL : <http://www.jlpt.jp/about/index.html>

なお、本特別コースでは、修了要件として日本語能力試験 N2 レベルの日本語能力を必要としているので、下記のスケジュールで日本語学習が可能な者。

時 期	日本語能力
渡日時	日本語能力試験 N4 レベル以上
2019年12月	日本語能力試験 N4 以上を受験
2020年7月	日本語能力試験 N3 以上を受験
2020年12月	日本語能力試験 N2 以上を受験
2021年7月	日本語能力試験 N2 以上に合格

- (8) コンソーシアム参加企業等に就職することを強く希望する者  
(9) 査証取得：渡日時に「留学」の査証を必ず取得していること。

## 7. 選考日程

日 程	内 容
2018年7月13日(金)	募集要項公開、指定校へ送付開始
2018年8月20日(月)～2019年1月9日(水)	出願資格事前審査書類提出期間
2018年8月20日(月)～2019年1月23日(水)	出願資格事前審査(1次審査)(書類審査、口頭試問(インターネットを利用した場合も含む))
2019年1月25日(金)	出願資格事前審査(1次審査)の結果発表・通知
2019年2月1日(金)～2019年2月15日(金)	出願資格事前審査(2次審査)(口頭試問、インターネットインタビュー)
2019年2月18日(月)	出願資格事前審査(2次審査)結果発表・通知
2019年2月19日(火)～2019年3月1日(金)	希望する指導教員との受入れに関する相談
2019年2月19日(火)～2019年3月1日(金)	願書受付期間
2019年3月4日(月)～2019年3月6日(水)	選考
2019年3月8日(金)(予定)	合格者発表・通知

## 8. 出願資格事前審査応募手続

応募者は、下記の書類をEメールで2018年8月20日(月)から2019年1月9日(水)(必着)までの間に香川大学大学院農学研究科(農学部学務係)へ提出すること。

【注】これらの書類は、日本語又は英語で作成すること。原本が両言語以外で記載されている場合は、日本語又は英語による訳文を必ず添付すること。

### (1) 入学志願票

### (2) 出身大学(学部及び大学院)の成績証明書(出身大学で発行したもの)

【注】成績証明書は、大学学部、大学院の学年毎に取得した全科目の成績が分かるもので、かつ、その成績が何段階で評価されているか明確に分かるものとする。成績証明書に何段階評価であるか明記されていない場合は、大学発行の評価表を添付すること。ただし、画面のコピーは不可とする。

### (3) 出身大学(学部及び大学院)の卒業証明書(出身大学で発行したもの)(既卒者のみ)

### (4) 昨年度の家計支持者の年収を証明する書類

【注】家計支持者と申請者の関係が分かる書類を添付すること。

## 9. 出願資格事前審査方法

### (1) 1次審査

書類審査及び口頭試問を実施する。

なお、口頭試問は、直接口頭試問又は、インターネットを利用した双方向音声・画像通信のいずれかで行う。インターネットインタビューの日時については、別途志願者に連絡する。

### (2) 2次審査

1次審査を通過した者に対し、2次審査を行う。

専門分野の能力や素養、語学力(英語あるいは日本語)、日本の食の安全特別コースプログラムに対す

る意欲、提出された書類及びインターネットインタビューにより審査する。インターネットインタビューの日時については、別途志願者に連絡する。

#### 10. 出願資格事前審査結果通知

##### (1) 1次審査

1次審査結果は2019年1月25日(金)にメールで通知する。

電話等による審査結果の照会には、一切応じない。

##### (2) 2次審査

2次審査結果は2019年2月18日(月)にメールで通知する。

電話等による審査結果の照会には、一切応じない。

2次審査を通過した者は各自希望する指導教員と直接連絡を取り、綿密な実験計画を立て、研究計画を作成すること。指導教員との連絡方法については、別途通知する。

#### 11. 出願手続

上記出願資格事前審査の結果、資格有と通知された者は、下記の書類を2019年2月19日(火)から3月1日(金)(必着)までに、香川大学大学院農学研究科(農学部学務係)へ提出すること。

**【注】**これらの書類は、日本語又は英語で作成すること。原本が両言語以外で記載されている場合は、日本語又は英語による訳文を必ず添付すること。

出願時提出書類一式	注意事項
(1) 申請書	
(2) 専攻分野及び研究計画	応募者は、指導教員予定者と密接な連絡をとり、研究計画を作成すること
(3) 学位論文の概要	A4判紙で2~3ページ
(4) 出身大学の卒業(見込)証明書	卒業(見込)年月が明記されているもの
(5) 在職証明書	就職していた者のみ(アルバイトは除く)
(6) 出身大学(学部及び大学院)の成績証明書(出身大学で発行したもの)	
(7) 本国の戸籍謄本又は市民権等の証明書	
(8) 日本語能力試験N4程度以上の証明書のコピー。あるいは日本語能力について、語学センターなどで所定の単位を取得している証明書のコピー又は修了認定証のコピー	原本の提出は必要なし
(9) 英語能力に関する資格を有する場合は、その資格証明書のコピー	原本の提出は必要なし
(10) パスポートのコピー	
(11) 写真3枚(最近6か月以内に撮影したもので4.5×3.5cm。上半身、正面、脱帽、1枚は申請書の所定の場所に貼付のこと。)	写真の裏面に国籍及び氏名を書くこと
(12) 誓約書	
(13) 推薦書	所属大学等の研究科長レベル以上
(14) 健康診断書	最近6ヶ月以内に受診したもの
(15) 検定料	30,000円(別途指示する所定の口座に振り込むこと)
(16) これ以外に必要な書類がある場合は、別途指示する。	

## 12. 選考方法

提出された書類及び研究計画により最終選考を行う。

## 13. 合格者発表

2019年3月8日（金）（予定）

合格者には合格通知書をEMSで送付します。

## 14. 入学手続

別途指示する期間内に入学料を納付し、入学手続を行うこと。（ただし、入学料免除申請を行う場合は、入学料を納付する代わりに免除申請書を提出すること）所定の期間内に入学手続を行わなかった場合は、入学辞退者として取り扱う。

納付金 入学料 282,000円（予定）

なお、入学時及び在学中に学生納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

（参考）授業料 前期分 267,900円（予定） <年額> 535,800円（予定）

※授業料は入学後、納付すること。ただし、授業料免除制度があり、入学後手続が可能。

## 15. 入学時期

2019年10月

## 16. 注意事項

- (1) 香川大学における講義、実験、実習等の研究指導は、原則として日本語で行われる。
- (2) 入学手続を完了した者は、原則として2019年10月1日（火）までに渡日のこと。  
なお、日程等の詳細については、別途個別に通知する。
- (3) 日本でのアパートについては、香川大学より斡旋、紹介する。
- (4) 本コースに入学する者は、修了後、日本企業又は日系関連現地法人への就職を誓約しなければならない。  
したがって、本コースから直接博士後期課程への進学はできない。

## 17. 奨学金と渡日費用

現在、下記の奨学金制度を設けている。申請方法については、入学前又は入学後別途通知する。  
また、渡日費用は自己負担とする。

例) コンソーシアム参加企業からの奨学金  
香川大学グローバル人材育成特定基金事業奨学金  
香川大学外国人留学生奨学援助事業 奨学金  
文部科学省外国人留学生学習奨励費奨学金  
その他民間団体からの奨学金 など

**【注】** 国費外国人留学生について、今年度文部科学省の国費優先配置を行う特別プログラムに申請予定である。採択された場合、今回私費外国人留学生として採用された者の中から、諸条件と成績に基づいて 国費外国人留学生（月額 144,000円 2018年度実績） を選抜する予定である。

ただし、採用時期・人数については未定である。

## 18. 申請書類等の提出先及び本件照会先

香川大学農学部学務係 日本の食の安全特別コース担当

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸 2393

E-mail: [agakum5@jim.ao.kagawa-u.ac.jp](mailto:agakum5@jim.ao.kagawa-u.ac.jp)

Fax: 087-891-3022

HP: <https://www.ag.kagawa-u.ac.jp/asiajinzai/index.html>

表 「本コースの指導教員と専門分野」

◆食料生産学分野

指導教員	専攻分野	主な研究内容
東江 栄	資源植物機能学	①資源植物の生理機能の解明および農業的利用に関する研究 ②植物の環境ストレス応答(耐性)機構の解明に関する研究
豊田 正範	作物生態生理学	作物の収量形成に関する生態生理学的・発育形態学的研究
松本 由樹	家畜生体機構学	①腸管栄養吸収を制御する神経制御機構の解明と動物資源生産への応用 ②動物資源生産に有効な機能性飼料開発と飼育環境評価法の確立

◆園芸科学分野

指導教員	専攻分野	主な研究内容
柳 智博	施設園芸学	施設生産が盛んなイチゴを材料に、生産性や品質を向上させる栽培技術の開発、野生種を利用した育種について研究を行っている。

◆生物分子化学分野

指導教員	専攻分野	主な研究内容
佐藤 正資	生物活性化学	天然有機化合物の新規な生物活性探索とそれらの応用開発
深田 和宏	生物物理化学	生体関連両親媒性物質の物性と機能性に関するコロイド界面化学的研究

◆植物科学分野

指導教員	専攻分野	主な研究内容
野村 美加	分子植物栄養学	植物微生物相互作用に関する生化学的、分子生物学的解析

◆生命機能科学分野

指導教員	専攻分野	主な研究内容
櫻庭 春彦	酵素工学	微生物、特に極限環境に生育する微生物が生産する酵素の機能および構造解析とその応用面の研究
渡邊 彰	微生物生化学	微生物、特にキノコ類が示す生命現象の解析(遺伝子・タンパク質レベルから個体レベルまで)とその応用面に関する研究

◆食品科学分野

指導教員	専攻分野	主な研究内容
小川 雅廣	食品タンパク質化学	食肉、食卵、魚介類、乳などの動植物性食品に含まれるタンパク質の機能改善に関する研究
川村 理	食品衛生学	カビ毒(マイコトキシン)や低分子有毒物質に対するモノクローナル抗体の作製と免疫化学的測定法の確立、これらの食品汚染調査、ヒト曝露とリスク評価に関する研究
合谷 祥一	食品物理学	食品の物理的特性の解析及び食品に適した界面科学的乳化に関する基礎研究
高田 悟郎	応用酵素化学	微生物および酵素を用いた希少糖やオリゴ糖などの機能性糖素材の生産に関する研究、微生物の生産する酵素に関する構造学的・分子生物学的研究
田村 啓敏	食品化学	食品の感覚特性(フレーバー特性)及び生理機能特性に関する化学的解析
吉井 英文	食品工学	機能性食品粉末の創製、食品粉末の緩和現象解析および糖質の新規晶析手法の開発に関する研究を行う。
森本 兼司	酵素利用学	酵素や微生物を用いた糖転換反応を利用して希少糖を生産し、その用途に関する研究を行う。
吉原 明秀	酵素利用学	微生物の生産する希少糖生産酵素およびそれら酵素を用いた様々な希少糖の生産に関する研究を行う
米倉 リナ	食品化学	①食品の機能性成分の消化・吸収・機能性評価 ②オリーブ果実の加工法及び官能評価に関する研究